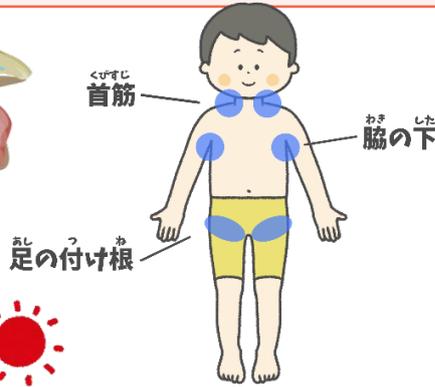


# 熱中症が疑われる時の応急処置

作業前に「暑さ指数28℃、気温31℃以上でないか」を確認

## 熱中症発症

めまい・失神・筋肉痛・筋肉の硬直・大量の発汗・  
頭痛・不快感・吐き気・嘔吐・倦怠感・虚脱感・意識障害・  
けいれん・手足の運動障害・高体温



氷枕や保冷剤で両側の首筋やわき、足の付け根などを冷やしましょう



涼しい場所へ避難して  
服をゆるめ体を冷やす  
水分・塩分を補給する



家族又は事業所等に連絡

一報を入れる

家族又は事業所等

現場に向かう

### CHECK

状況が悪い場合  
意識なし  
動けない

YES

### 救急車を呼ぶ

救急車が到着するまでの間に  
応急処置をしましょう。  
意識がないのに、無理に水を  
飲ませてはいけません。



### CHECK

症状がよくなりましたか？

NO

### 医療機関へ

本人が倒れたときの状況を  
知っている人が付き添って  
発症時の状態を伝えましょう。

YES

そのまま安静にして  
十分に休息をとり  
回復したら  
帰宅しましょう



### 村内医療機関

しんたにクリニック 75-4177  
神城醫院 75-7050  
栗田医院 72-2428  
横沢医院 72-2008  
白馬 I N C 85-2264

